

第119回 全日本剣道演武大会



と き 令和5年5月2・3・4・5日
ところ 武 徳 殿
主 催 公益財団法人 全日本剣道連盟
後 援 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会
京都新聞
主 管 一般財団法人 京都府剣道連盟

本大会の歴史

武徳会創立直後の明治28年10月26日より3日間、大日本武徳会本部主催により、第1回武徳祭大演武会が行われた。当時、武徳殿は、まだ造営されておらず、平安神宮前の博覧会跡に、テント張り仮道場を沢山設けての実施であった。参加者は320名。第2回は1,440名、第3回には1,065名の参加者をみた。明治32年5月4日の第4回大会から新たに武徳殿が主会場となり、以来毎年実施された。第35回大会（昭和6年）にはラジオの実況放送が行われるなど、昭和19年まで盛大に挙行された。

戦後、全日本剣道連盟が結成されてからの、最初の大会は京都大会の名称で、昭和28年5月4・5日の両日、会場を同じく旧大日本武徳会武徳殿において、開催された。終戦後、剣道がほとんど禁止状態におかれ、8年間の空白を経てからの、初めての全国大会でもあり、本大会の成果は将来における剣道発展の指針となるばかりでなく、一般社会の各方面からも多大の関心が持たれたのである。試合は、都道府県対抗の団体優勝試合と個人試合とに分かれて行われ、参加者は団体対抗試合に40都道府県代表200名、個人試合に1,200名、各種形に200名、それに翌6・7日の両日行われた称号審査会の参加者800名を加えると、実に2,000名を超えるという盛況であった。団体試合のあと個人試合が行われ、最後に次の四組の範士模範試合は、武徳殿を埋めつくした観衆の固唾を呑むなかで厳粛に行われた。

柴田万策（東京）———四戸泰助（京都）
津崎兼敬（兵庫）———白土留彦（東京）
大麻勇次（佐賀）———宮崎茂三郎（京都）
小川金之助（京都）———持田盛二（東京）

この第1回京都大会は、剣道の新しい出発を飾るにふさわしい立派な大会となった。その後の大会も、各種武道形・杖道・居合道の演武、剣道個人試合（参加資格は昭和50年まで五段以上、以後六段以上、平成13年からは六段以上称号を有する者）が行われ、全国の剣道人が1年間の修練の成果を披露する演武大会として、また全国剣士の交歓の場としても普及し、今日に至っている。

今大会の申込者ならびに過去2年の出場演武者は下表のとおりです。大会名称の「京都大会」を、平成4年より「全日本剣道演武大会」と名称を改め、回数においても昭和19年の第48回大会を引き継ぎ、本年は通算第119回となり、戦前より行われてきた武徳祭大演武会を名実ともに継承するものとなっている。

平成11年には大会開会前に武徳殿建立100年を祝う記念行事が行われ、14年には全日本剣道連盟設立50周年記念大会を開催しました。また、平成17年より開催日を1日繰り上げ2日より開始し、5日の祝日で終了することとした。

令和2年・3年は、新型コロナウイルス感染症拡大の為、開催を中止した。

今大会申込者数ならびに過去の出場者数

	令和元年	令和4年	令和5年
剣道	2,838名	1,455名	2,074名
居合道	696名	469名	658名
杖道	167名	112名	154名
なぎなた	91名	64名	82名
各種形	222名	128名	166名
合計	4,014名	2,228名	3,134名

全日本剣道演武大会組合せの方針

一 組合せ順決定の基本事項

- ① 錬士・教士・範士の順とし、それぞれ段位の区分による。
- ② 同段位の場合は、称号取得年次による。

二 組合せに際しての配慮事項

- ① 段位取得年次を考慮して行うことがある。
- ② 過去三年の組合せを繰り返さないようにする。
- ③ 同県の者は、組合せないようにする。
- ④ 極力同程度の年齢の者と対戦するよう配慮する。
- ⑤ 剣道教士七段申込者で、三日または四日の演武希望者を組合せ時に配慮するが、運営上参加日の調整を行なうため参加希望日に沿わない場合がある。

三 右の基本および配慮事項に基づき、全日本剣道連盟会長指名の全日本剣道連盟審議員、各担当役員および大会委員の立会いのもと、主管の京都府剣道連盟役員および大会実行委員により実施された。

演武内容

一 各種の形、薙刀、杖道、居合道の演武本数は5本とする。

二 剣道個人演武

- ① 錬士および教士の試合は、二本勝負。時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
- ② 範士の部は、模範演武とする。
- ③ 試合場は範士前半までの演武は一会場とし、以後の演武は一会場とする。

【審判】

- ① 錬士および教士の試合での審判員は、三人制とし審判旗は保持しない。
- ② 立会・審判の服装は平服とする。

* 武道センター会場案内 *

4

